



松崎さち NEWS



◀ ブログはこちらです



連絡先 sachimatsuzaki020@gmail.com

〒273-0031 千葉県船橋市西船 2-12-8

フォルス 13-B 号

自宅 ☎・FAX 432-9317 控室 ☎436-3030

(担当地域) 本中山・二子町・東中山・本郷町・葛飾町・山野町・

印内町・古作・西船・印内・海神町・海神・山手・北本町・本町

台風豪雨で二俣川氾濫 農業被害も

豪雨で増水した二俣川 10月25日、海神町南1丁目



ハザードマップの見直しや 治水対策など、 体制づくりを

台風15号・19号、21号の影響による豪雨は、千葉県をはじめ関東・東北などを中心に甚大な被害をもたらしました。船橋市も一連の災害で、土砂災害警戒区域や海老川・飯山満川周辺、西船橋駅南地区で避難勧告を出し、避難所を開設しました。しかしそれを知らなかった市民が多く、周知に課題があります。

市は「防災無線はデジタル化を進めており」デジタル式のコンパクトな防災ラジオ自体がない。開発状況を注視し導入に向けてどう考えるかは、考え方だ。(防災無線を受信する) 戸別受信機は高額なので提供は考えていない」と消極的な姿勢です。

また台風15号による豪雨で、二俣川は1時間半ほど氾濫しました。海神町南1丁目では「玄関のすぐそこまで水が迫っていた」「今後が心配」という声が。同地域は洪水ハザードマップでは浸水地域と指定されておらず、マップの見直しや治水対策が急がれます。マップについて質した所、市長公室長は「下水道部とも協議して、どうするか考えていきたい」と答えました。

農業被害も深刻です。船橋市では台風15号で1億6185万円、19号で680万円の損害を出しました(10月31日現在)。西船地区でも「ハウスが歪んだ」「ビニールが飛ばされた」「野菜が全滅」などの声。市は11月から被災住宅修繕支

援事業を始めており、農業分野でも支援を準備中です。温暖化のもと、「100年に一度」の豪雨や台風が毎年現れつつあり、実態に即した災害対策への抜本的な見直し、体制づくりが急務です。

なんでも生活相談

毎月第4土曜日

午後2～4時

松崎事務所 海神 6-17-31

☎ 047-401-3925

日本共産党への募金のご協力を

お近くの党員・議員・事務所へお渡してください。



S・Fさん(西船地区在住)

「朝4時に起きます」「しんぶん赤旗」日刊紙を週1回配達しているSさん。小学生の子ども達を育てる主婦で、日曜版の配達もしています。祖母の戦争体験を聞き、平和憲法は誇りという学校教育を受けた。先生じゃなかったのに」と笑います。

「公民館でも反戦映画が上映されていて。だから集团的自衛権の閣議決定あたりから、いとも簡単に平和が壊されるのが嫌だなと思い始めた」

いとも簡単に平和を壊すな

「世の中悪くなっているとはいえ、日本はまだ平和。市民や日本共産党が反対してきたからと知り、私もそこに加わりたかった」

周りを気遣う優しさが周囲を励ましています。

市民いじめの「行革」は撤回を

財政指標は優良な船橋市 海老川上流地区の開発は聖域

船橋市は来年度までを集中期間として「行財政改革（以下、行革）」を進めています。

市は効率化と財政健全化を図るとして91項目の方針を発表しました。国保料や下水道料、保育料、公民館など36の公共施設使用料の値上げ、補助金廃止や削減、民営化など、福祉・医療・教育・文化などあらゆる分野で市民に大きな影響を与える中身です。まさに「市民いじめの大計画」です。

市は「社会保障経費と借金の増加」を理由にしますが、「十年後に72億円も増える」という扶助費（福祉の費用）の約65%は国や県の支出で賄われ、実際の市の支出増は約17億円です。また二つの清掃工場など大型建設事業を一度に行い、借金を増やしてきたことへの反省は一言もありません。

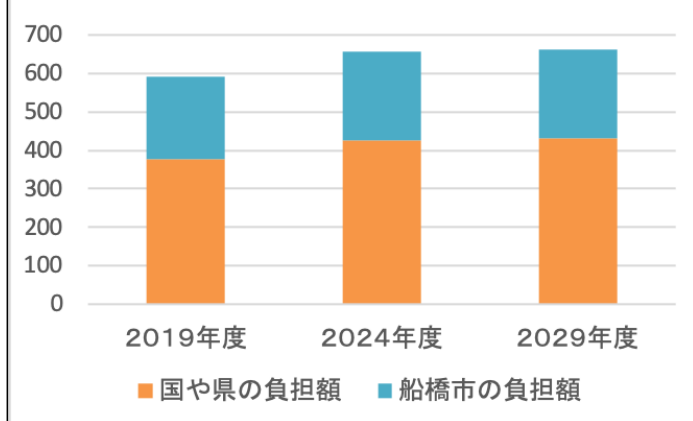
財政指標も中核市58市の中で優良です。昨年度の財政力指数は7位の高さです。財政健全化判断比率の一つである実質公債費比率は4番目に低く、将来負担比率も平均を下回っています。

何より170億円もの浪費をする海老川上流地区の区画整理は聖域で、着々と進めています。行革の目的の一つが財界奉仕の財源づくりなのは明らかです。

9月、松崎市議は本会議でこの件を追及しました。松戸市長は「将来の市民生活の安定のために行革が必要」と強弁しましたが、欺瞞に満ちた回答です。

市長は早ければ12月議会に、施設使用料の一斉値上げや、運動公園・法典公園の駐車場有料化の条例案を出す見込みです。これらは市民の社会教育権を侵害します。行革を撤回させ、豊かな財政力で福祉と暮らし第一の市政を実現させるため、声を上げていきましょう。

扶助費（福祉の費用）の内訳（単位：億円）



船橋市の2019年度「将来財政推計」より作成

9月議会で質問

デマンドタクシーで交通不便解消を

松崎 交通不便地域でデマンド（予約型乗り合い）タクシーを走らせるべきだ。地域域公共交通網形成計画の中で3年かけて検討するというのが、切実なニーズがあり、そんなに待てない。

JR 下総中山駅南口のバリアフリー化を

道路部長 7月、県の担当者と共にJR千葉支社で協議したが、JRは自ら主体となり整備する考えはない。

松崎 6段の階段があり、車椅子の人などは登れない。新成の常盤平駅南口のエレベーターは松戸市が設置費を負担した。行政が主体となり、費用を出して進めるべきでは。

辻副市長 市として重点的にやらなければならぬのはその通り。まずはJRに引き続き一生懸命に要請する。

気候危機に向き合う時

台風19号が温帯低気圧に変わった日、館山市でご要望を伺うボランティアへ。「年金は月十万円。苦しい生活の上、災害まで」「屋根のブルーシートが飛ばされた。ここに住むのは怖い」と悲痛な声。▽連続災害の根本には地球気候変化があり、環境活動家グレタさんの「私たちは大量絶滅の始まりにいる」という告発が刺さります。脱石炭火力発電と原発ゼロ、焼却ごみの減量は人類の未来のために必須です。（松崎）

